

みどりの風

第10号



「2月の生活目標」に寄せて ～感謝の気持ちを伝えよう～

校長 坂井 智

学校では、生活目標を設定して、毎月重点をかけて生活上の指導を行っています。2月の目標は、「感謝の気持ちをつたえよう」です。卒業式に向けて様々な取組が始まっていますが、その一つが六送会に関わる活動です。六送会には、生活目標にある「ありがとう」の言葉が実によく似合います。

感謝の言葉には、それを使った情景と重なり、どの人にも様々な思い出があることでしょうか。リンドバーグは、ニューヨークとパリ間を最初に単独無着陸飛行した飛行士として有名です。そのリンドバーグが来日した際に、「『ありがとう』はとても美しい日本語の言葉ですね」と話していたと、どこかで聞いたことがあります。リンドバーグが日本で歓待を受けたことが目に浮かびますし、ありがとうの語源が「有難し」であると聞くと、確かに「ありがとう」は特別な言葉であるとの思いがいたします。

感謝の言葉は、別れと重なります。大切な人と別れるときに、私たちは感謝の念を新たにします。また、そのときを迎える前に、自分にはもっとできることがあったのではないかと反省することも多々あります。

六送会の取組には、3月2日に開催される「6年生を送る会」の集会活動とそれに向けた「ありがとう月間」の企画があります。「ありがとう月間」には、「縦割り班での遊び」「各学級での垂れ幕作り」「6年生ありがとう放送」等が行われる予定です。6年生とお別れする前に、これまでの思いを伝えるとともに、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと願っています。

2月から3月にかけての学校は、卒業式を見据えて1年間の学習が集大成するときでもあります。また、学校に関わる多くの人との関わりの中で、次への意欲を高める時期となります。保護者の皆様にはすでにご案内を差し上げましたように、2月の学習参観日には、学習参観後にご家庭と学校が一緒になり今年度の学校の教育活動の振り返りをいたします。子どもたちの活動の様子等のスライドも上映する予定です。3月2日の六送会と併せて学校に足をお運びいただき、共に「濃密な時間」を過ごしたいと思います。

ところで、お子さん自身は2月の生活目標を知っているでしょうか。これを読まれたあと、お子さんに「2月の生活目標は何ですか」と聞いてみていただくとありがたいです。



6年生への感謝の放送（5年生）



感謝の演奏の練習（6年生）

楽しかった スキー教室！

2/1(木):4. 5年スキー教室、 2/2(金):学習室と1・スキー教室、
2/8(木):3. 6年スキー教室 於 ニノックススノーパーク

ウインタースポーツといえば「スキー」を思い浮かべる人も多いと思います。他県の人からよく聞かれるのが、「新潟出身です」と話すと「スキーが上手なんだね!」。新潟県民あるあるではないでしょうか。だからといって、みんながみんなスキーが上手にならなきゃいけないというわけではなく、住吉小学校では、

- ・冬の自然に親しんで、野外運動の楽しさを感じる。
- ・スキーやそりなどの用具の正しい取り扱い方や施設の利用方法、マナーを身に付ける。
- ・能力に応じて、安全に斜面を滑降する技能を身に付ける。
- ・集団で行動するときのきまりを守り、友だちと協力し合う。

というねらいや願いのもと、毎年、そり・スキー教室を行っています。今年度は1, 2年生のそり教室はインフルエンザ等の流行により中止になってしまいましたが、他の学年は天候にも恵まれ、予定どおり行うことができました。

スキー教室の前日、廊下ですれ違った子に、「明日スキー教室だね。楽しみ?」と聞くと、「はあ〜。スキー教室か〜。滑れないから心配だ〜。」と不安そうな顔をした3年生の子がいました。たしかに、初めてスキーをする子、寒いのが苦手な子、運動が苦手な子、みんながみんなスキー教室が楽しみではないのは当たり前です。スキー教室が終わり、この子に話しかけてみると、前日に見せた不安な顔と真逆の、にっこりにこの笑顔で「楽しかった〜! 転ばずに滑ってこれたよ! また来たい!」と話してくれました。

正直、スキー教室の運営や準備はとても大変です。ただ、子どもたちのうれしそうな笑顔を見ると、「やってよかったな」と感じます。そして、そんな子どもたちの気持ちを支えてくれているのが、保護者や地域のボランティアの方々です。平日にもかかわらず、今年もたくさんの方々から指導・サポートに協力していただきました。学校職員だけではこの行事は行うことはできません。協力して下さったボランティアの皆様、また、それぞれの家庭で準備や声掛けをして下さった保護者の皆様、受け入れをして下さったニノックススキー場の方々、大変ありがとうございました。

(スキー教室担当 渡辺幸太)



学校評議員会の報告(1月24日)

住吉小学校では、年に2回、「学校評議員会」が開かれています。9名の評議員の方々から、学校運営全般について忌憚のないご意見を頂戴し、運営に活かしています。

第2回の評議員会が、過日開催され、2学期の学校評価結果や保護者アンケート、次年度のグラウンド改修工事についてご意見をいただきました。その一部を紹介します。

<グラウンド工事について>

- ・一年間、グラウンドが使えないというのは制約が大きい。市としての方針はないのか。

- ・ 体育の時間数の確保は大丈夫か。屋外競技はどうなるのか。
- ・ 住吉小は、大人数なので、大変だと思うが、できるだけ子どもたちの要求を満たしてほしい。
- ・ 既存の遊具は取り壊されると思うが、その後の設置はどうなるのか。
- ・ 新年度が始まる前に、しっかり計画してほしい。気づかないところも多々あると思う。

<いじめへの対応について>

- ・ あだ名を言われて嫌な気持ちになっている子がいる。先生方は多忙だと思うが、子どもたちをしっかりと見てほしい。
- ・ 昔は親しみを込めたあだ名もあったが、本人がいやがるようなあだ名はだめだと思う。最近は極端な傾向がある。
- ・ 昔もいじめはあったが、社会が変化してきて、いじめに対して敏感になっている。
- ・ 学校では、いじめはどのようにして見つけるのか。

<その他>

- ・ 学習発表会で、会場に入れなかったという苦情があった。改善してほしい。など

学校側からは、市のバスによる陸上競技場への移動や体育授業、運動会、陸上練習、いじめ対策委員会の現状、次年度、学習発表会の見通し等について説明しました。

6年生ヒューマンタイム（じんけん学習）

6年生は2学期から、部落差別問題について学習してきました。日本の伝統文化を支えたり、人々の生活に役立つ仕事をしたりする人たちがなぜ差別を受けるのか。子どもたちは、理由もなく、またそこに生まれたという理由で差別されることに「おかしさ」を感じました。差別を受けた人々の気持ちになって考えることで、「部落差別なんてなくなればいいのに。」という気持ちを高めてきました。

3学期はこれまでの学習をまとめる大切な時期です。歴史上の問題ではなく、現在も残る部落差別に対して、「自分たちは何ができるのか。」「どうしていかなければならないのか。」をさらに深く考えました。そのとき、住吉小学校6年生の学習に協力してくださったのが、住吉産業の方や長谷川サナエさんです。自身が受けた差別体験やみんなが幸せに暮らせる世の中にするために活動してきたこと、これから生きる子どもたちへの願いをわかりやすくお話しいただきました。振り返りやお礼の手紙の中には、子どもたちがこれまでの学びを通して、一生懸命考えた「自分にできること」がたくさん書かれていました。



学習後の子どもたちの思い

- ・ 「3S」、「すぐに」「素直な言葉で」「親しい人にも言う」という合い言葉。私は、いざという時、言えないかもしれないなと思ってしまいました。でも、自分の気持ちをちゃんと伝えないと何も変わらないので、がんばって言おうと思います。
- ・ 差別している側の支援者を減らさなければ、差別はなくならないと思いました。そのためには、自分たちの思いを伝えることが大切だと思いました。私も自分が差別してはいけないと思っていることを伝えられる人になりたいです。
- ・ 隣の人と手をつないだとき温かかったです。でも、差別があるとそのぬくもりはプツンと切れると教えてもらいました。差別をされている人は、手をつなげず、ぬくもりがもらえないかもしれません。だから、ぼくは、ひとりぼっちの人がいたら、声をかけぬくもりを分け合いたいです。

～それいけ！ 執行ブ～

シー、住吉小学校 PTA を想う



美しい花が咲くところには、自然に人が集まり、やがて道ができる。PTA活動もまたそういうものかもしれないと、シーは思っている。人は楽しいところに来るからだ。「Peaceful Traditional Agent」(平和的伝統的諜報員)のシー・コウ・ブーが住吉小学校をスパイして2年。住吉小学校の保護者の集まりであるPTAの方たちをこっそりと調査し続けてきた。住小執行部には「楽しく」という合言葉がある。シーはその合言葉が好きだ。PTA活動は義務から始まることが多い。やりたくないなあと思いながら、しかたなく役員になる方もいるだろう。仕事や家の用事がある中でのPTAの役員の仕事は、気が重くなっても当たり前だ。だから、誰よりもそれをわかっている執行部メンバーが「楽しく」をモットーにしていることが、シーにはとても素敵なおことに思えるのだ。「楽しい」はものすごい力を持っている。「楽しむ」と決めたなら、面倒で余計なおことに思えることでも自分にとって価値あることに変えられる。そうやって楽しんだあとには、前の自分よりも少し高いところから少し広い世界を見渡せるようになる。大変なおことは大変だけでは終わらないし、頑張ったことはムダにはならない。執行部には合言葉がもうひとつ。「できるときに、できることを」だ。屋上の基地ではコウとブーとが慌ただしく荷造りをしている。「たまには、ボスは休んでいてください」その言葉に甘えて、ひとり雪の街を見下ろしながら、ふうっとタバコの煙をたく。手には一枚の紙。住小でのスパイ活動終了の命令書だ。美しい花が咲くところには自然に人が集まる。春になって桜が咲いて、新しい役員が住小の子どもたちといっしょに歩き始める。その道が楽しいことはいっぱいであるようにと、シーは心から祈りながらタバコの煙をのぼらせる。

2月後半と3月の予定

- 19 (月) 中学校出前授業 (6年) 委員会活動
21 (水) 音楽朝会
23 (金) 新1年一日入学 保護者説明会

- 1 (木) 全校朝会、街頭指導
2 (金) 6年生を送る会
5 (月) 委員会活動最終
7 (水) 児童朝会

- 12 (月) 卒業式歌全体練習 地域子ども会 (5限)
14 (水) 卒業式全体練習 月曜時程+1
15 (木) 期末清掃① 授業4限
16 (金) 期末清掃② 授業4限 PTA 広報部会 19:00~
19 (月) 授業4限 給食最終日 卒業式予行
20 (火) 授業3限
22 (木) 3学期終業式 卒業式前日準備

- 23 (金) 第40回卒業証書授与式
26 (月) 離任式

4月の予定

- 6 (金) 新任式、始業式
9 (月) 入学式
10 (火) 普通授業開始 2年~6年給食開始